

核兵器禁止条約の交渉参加を

オバマ大統領 決断して下さい



世界が注視 オバマ大統領の広島訪問

オバマ米大統領が5月27日に世界最初の被爆地・広島を現職大統領として初めて訪問します。広島では1945年8月6日の原爆投下でその年の内に14万人が犠牲になりました。今回の訪問は全世界が注目しています。これを機に核兵器廃絶の第一歩が始まることを私たちは期待します。

核兵器のない世界 「法的措置」こそ確かな道

今世界では、核兵器禁止・廃絶をめざす運動が、国際政治の場で大きな高揚を見せています。5年ごとに開かれるNPT（核不拡散条約）再検討会議や国連総会では核兵器を禁止・廃絶する「法的措置」を求め、動きが主流となりました。昨年の国連総会では加盟国8割が賛同して法的措置を議論する作業部会が設置されました。アメリカを始め核保有国はこれに反対しています。日本政府もこうした流れに背を向け、被爆国にふさわしい役割を發揮していません。広島で核兵器のない世界を言うならば、核兵器禁止条約への交渉参加をただちに決断するよう強く求めます。

岡山「被爆2世・3世の会」 / 岡山県原水協

岡山市北区西島田町4-25
TEL 086-244-4526